

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	立地条件より地域との交流を図る事に困難がある	地域密着を心がけホームからの働きかけを継続していく。	地域の行事に積極的に出かける事に努める。ホーム行事にお一人でも多くの人の参加をいただく為地域の方のお誘い範囲を拡大していく。市民病院受診時知人との遭遇など期待できるので機会を逃さず対応する。又、ホームに寄っていただくお誘いなどする。推進会議の御参加も募る。	12ヶ月
2	19	馴染みの方々との関係を継続する事に困難がある	ご希望に合った活動ができるようにしたい。	御家族以外の馴染みの方にお会いできる機会が少なく、徐々に面会を期待できなくなるのは必須なので、ホーム行事などの案内やお誘いを御家族様を通して行うなどし参加をいただけるように努力する。入居後の新しい馴染みの関係も大切にしたい。会いたい方や行きたい所などの情報が得られたら気遣っていく。	12ヶ月
3	25	チームで作る介護計画を目指している	受け持ち介護従事者としての自覚の向上を図り、各受持ち入居者のプラン作成に至るまでの工程すべてに関わることができるようにする。	受持ち介護者がモニタリングの完成までの工程にすべて関わっているが内容の充実を図るため更なる学習が必要であり学べる機会を多く持てるようにする。プラン更新時期の御本人と御家族の御意向を受け入れたプランの構成に努める。	12ヶ月
4	31	重度化や終末期に向けた方針が周知されていない	御家族・本人のご希望に応じた対応ができるようにしたい。	体制や設備的に不十分なことは否めないが「看取り」体験を期にスタッフの意識に変化ができています。今後も医療との連携が取れれば受け入れる可能性はあることを皆で自覚し、管理者(看護師)中心に高齢者の急変・緊急時の対応含め学習を継続していく。	12ヶ月
5	50	居心地の良い共用空間作りができているか？	ホール中心に各所に配慮を怠らず、快適な過ごし方ができるように皆で心がける。	玄関・廊下・ホール・台所・浴室・トイレなど全域にわたり皆さんが混雑混乱をしない環境や使用方法に留意できるよう毎月のカンファレンスの業務検討で話し合う。又同じく、生活感や季節感に配慮したその時期のできること(置物や壁飾り等)も継続していく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。